（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和4年10月1日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
河原外語観光・製菓専門学校	平成20年3月31日	森田　桂子	〒790-0012 愛媛県松山市湊町3丁目5-1 （電話）089-987-7577
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人河原学園	昭和60年10月21日	河原　成紀	〒790-0001 愛媛県松山市一番町1番地1 （電話）089-943-5333

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	声優タレント科	平成31年文部科学省告示第3号	－

学科の目的	専門的かつ実践的、最新の知識や技術、技能を習得するため、業界・企業と連携した教育並びに授業を行うことで、エンターテイメントの分野で、業界・地域・社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1890	－	90	1800	－	－
							時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	25	0人	.3人	5人	8人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 年2回、前・後期末に定期試験を行う。100点換算で60点（C判定）以上で単位認定とする。
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：7月20日～8月20日 ■冬　季：12月22日～1月10日 ■学年末：3月31日	卒業・進級条件	・各授業科目において90%以上の出席をすること ・期末試験に合格し、進級・卒業に必要な単位を取得していること
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 面談（本人・保護者）、補習、補講、課題	課外活動	■課外活動の種類 学校外の公演への参加、ステージ出演 チャリティ募金ボランティア　依頼公演への出演 学園祭等の実行委員会　ラジオ番組制作 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和2年度卒業生） 株式会社ワークメイト ■就職指導内容 担任による個別面談、三者面談の実施。カウンセリングの実施。就職希望先と本人へのマッチング。 ■卒業者数：13 人 ■就職希望者数：1 人 ■就職者数：1 人 ■就職率：100 % ■卒業者に占める就職者の割合：7 % ■その他 ・芸能関係プロダクション所属および養成所　93% （令和　2年度卒業者に関する令和4年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
朗読検定3級	③	13	13
文章読解・作成能力検定3級	③	4	4
文章読解・作成能力検定4級	③	9	8

中途退学の現状	■中途退学者　1 名　■中退率　3 % 令和3年4月1日時点において、在学者　34名（令和3年4月1日入学者を含む） 令和4年3月31日時点において、在学者　33名（令和2年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合 ■中退防止・中退者支援のための取組 中途退学防止の取り組みとして、個人面談、三者面談、カウンセリング、家庭訪問、授業アンケートを定期的に実施する。 中途退学者について、進路変更後の就職斡旋等を支援する。
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：（有） ※有の場合、制度内容を記入 入試による特典 ■専門実践教育訓練給付：（給付対象）非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：（無） ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	https://hospitality.kawahara.ac.jp/

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

専門学校の職業教育のモデルは、業界の実務動向、社会の変化がその基盤になければならない。したがって教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、教務系会議の中核的委員会として位置づけ、前期末、後期末の総括会議（科目検討、シラバス検討、コマシラバス検討、授業法検討など）において、計画上の可否、実行上の可否判断に関連外部実務家の意見をたえずフィードバックさせる会議体として機能させることとする。議事録などには、新科目開設の必要の有無、シラバス・コマシラバス改善の必要の有無、教授法改善の必要の有無などを科目単位で具体的に集約し、改善の中身が具体的にわかるよう努めることを会議規程としても明確化している。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
中村　茂昭	坊っちゃん劇場アウトリーチ事業部	令和3年4月1日～令和4年3月31日	①
山崎　真	株式会社ボイスアクターズスタイル	令和3年4月1日～令和4年3月31日	②
森田　桂子	河原外語観光・製菓専門学校　校長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
中村　亮	河原外語観光・製菓専門学校　教頭	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
沼野　優	河原外語観光・製菓専門学校　声優タレント科学科長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
守屋　陽子	河原外語観光・製菓専門学校　声優タレント科教員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（11月、3月）
（開催日時（実績））
第1回　令和3年11月10日　11：00～12：00
第2回　令和4年3月24日　10：00～11：00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
基本的なコミュニケーション能力や身だしなみは必須である。近年、社会人としての一般教養を知らない新卒生が多く、苦慮している。専門学校卒業までに最低限身につけてほしい、とのご意見を授業の中で学生に伝え、実際に求められている人物像を描かせている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、さらには2)学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また実務能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

実践的な学習機会をつくることにより、企業から求められる人材へ近づけ、マーケット（相手）のニーズをとらえた活動を実現するため、担当教員と連携企業の担当者が事前に打ち合わせを行い、前提となるそれまでの学習内容や修得技術、知識等、学生の現状レベルを確認し、指導やアドバイス内容、評価の基準について協議する。
実習期間中は、学生の学習状況について確認するとともに、連携企業の担当者と情報交換を行う。
実習修了時に期末試験を実施し、5段階（S、A、B、C、D）で成績評価・単位認定を行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
番組制作	録音・編集の技術を取得し、ラジオ番組を制作する。インタビューの仕方、フリートークの会話を番組としての作品作りをめざす。	エムズ・オフィス
自己表現技法	声優(俳優)として必要な演技力、声・言葉・体のコミュニケーション能力のスキルをあげていく。また、アテレコも実際に行い、アクセント・滑舌・日本語の簡単な構成について学ぶ。	KENプロデュース
進級・卒業研究	声優俳優業界の基礎知識を学び、オーディションに向けての準備を行う。学んだことの集大成として、オリジナルシナリオによるドラマCD等を作成する。最終学年としての公演に向けての発表を行う。	株式会社パワー・ライズ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画（カリキュラム、シラバス、コマシラバス）に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Pro Tools マスタークラス 劇伴音楽制作＆プロジェクト管理術　」（連携企業等：株式会社Avid　）
期間：2021年5月28日（金）　　対象：声優タレント科　1名
内容：マスタリング実践とビデオの制作、配信用ファイナル・ミックスと、ビデオリマスタリング時のプロジェクト管理方法に関する解説する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学生の対人関係から見た心理的特徴と支援の検討」
（連携企業等：人間環境大学　人間環境学部　心理学科坂本真也准教授）
期間：2021年8月26日（木）　　対象：声優タレント科教員　2名
内容：学生の対人関係と心理的特徴と学生の発達段階の理解、心理的特徴と学生への支援計画。さらに架空ケースから学生の問題の理解と支援の方針を探る。

②指導力の修得・向上のための研修等
研修名「Withコロナの時代のオンライン教育のすすめ方　～学校生活でのICT利活用編～」
（連携企業等：株式会社NTTドコモ）
期間：2021年11月27日（金）　対象：声優タレント科　1名
内容：コロナ禍における学校教育のあり方と、オンライン授業の進め方、及びICTを活用した人材の育成を目指す研修を実施する。

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「文化庁　芸術家派遣事業　朗読講座実施　」（連携企業等：演劇倶楽部『座』　）
期間：2022年6月28日、29日　　対象：声優タレント科　1名
内容：美しい日本語の発声・発音、文章の読み方を学び、その中にある日本の美しい風景・文化を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「現代の学生の発達的特徴と親子関係を踏まえた学生対応」
（連携企業等：人間環境大学　総合心理学部　総合心理学科　准教授 吉本　美穂　先生）
期間：2022年８月１８日（木）　　対象：声優タレント科教員　2名
内容：学生の対人関係と心理的特徴と学生の発達段階の理解、心理的特徴と学生への支援計画。さらに架空ケースから学生の問題の理解と支援の方針を探る。

②指導力の修得・向上のための研修等
研修名「GIGA 時代の新たな学びを考える ～授業改善に向けた教員研修のあり方～」（連携企業等：Google for Education）
期間：2022年8月28日　対象：声優タレント科　1名
内容：GIGAスクール環境下におけるインターネットやクラウドを前提とした授業での端末の利活用と、授業をより良くするための、授業改善のための研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的で実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	教育理念・目的
（2）学校運営	組織・管理運営
（3）教育活動	教育
（4）学修成果	基本指標
（5）学生支援	就職指導、学生支援
（6）教育環境	設置基準項目（施設設備等に関する事項）
（7）学生の受入れ募集	学生の受け入れ
（8）財務	財務
（9）法令等の遵守	設置基準項目、組織・管理運営（法令遵守）
（10）社会貢献・地域貢献	学校教育以外の諸活動
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

「卒業時の到達目標をはっきりさせた授業計画を組みつつ、職業意識を高めることが必要」との指導助言をいただき、卒業研究の授業を1年次より開始するようカリキュラムを変更。さらに学内オーディションや事務所説明会を開催することで将来像を描かせ、職業意識の向上に努める。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
吉川　真愛	福井ウイメンズクリニック勤務	令和3年4月1日～令和4年3月31日	卒業生
山本　みき	株式会社ベルモニー	令和3年4月1日～令和4年3月31日	卒業生
東　真由美	（保護者）	令和3年4月1日～令和4年3月31日	保護者
千原　悦子	（保護者）	令和3年4月1日～令和4年3月31日	保護者
永尾　彰英	パティスリーミカンカフェ	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
春名　勝之	日本旅行業協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
住友 洋文	JR四国　伊予灘ものがたり企画室	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
田中　聡一郎	White Dress	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
宮内　紀英	道後　御湯	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
池水　信也 種植　千里	株式会社レディ薬局	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
浅野　光孝	一般社団法人永頼会　松山市民病院	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業
奥田　寧	南海放送サービス株式会社	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

高度な職業教育への研鑽を組織的、継続的に推進するためには、組織的、継続的な企業連携が必須とわれわれは考えている。その連携を有意義なものとするためには、企業にとって、学校の教育人材目標やその現状が体制として見えやすいものになっていなければならない。教育課程編成会議、学校関係者評価会議などの会議規程の透明性や開放性はもとより、自己点検評価の各指標全体が検証可能な透明性や開放性を持つことが、そのためにも必須である。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育理念・目的、沿革、組織・管理運営、設置基準項目（施設設備等に関する事項）
（2）各学科等の教育	基本指標、教育、設置基準項目（学生に関する事項）設置基準項目（教育に関する事項）
（3）教職員	設置基準項目（教員等に関する事項）
（4）キャリア教育・実践的職業教育	就職指導
（5）様々な教育活動・教育環境	設置基準項目（学生に関する事項）、その他教育環境に関する事項
（6）学生の生活支援	学生の受け入れ
（7）学生納付金・修学支援	学生支援、学生の受け入れ
（8）学校の財務	財務
（9）学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価結果公開資料
（10）国際連携の状況	－
（11）その他	社会貢献・地域貢献

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））

URL:https://hospitality.kawahara.ac.jp/disclosure/

授業科目等の概要

（文化・教養関係専門課程 声優タレント科） 令和3年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ボイストレーニング	声を使う仕事としての中心科目である。深い呼吸を身につける。体の各共鳴部位を用いた響く声をみにつける。滑舌トレーニングを行い、明瞭な発音を取得する。	1通2通	210	7			○	○			○	
○			MCアナウンス実習	婚礼・葬祭・イベント等の司会に対応できる技術を身に着ける。基礎となる発音、発声、アクセントを身につける。アナウンサーとしての様々な役割をテキストを使って理論的に学び、実技を通して身につける。	1通2通	120	4			○	○		○	○	
○			声優実技指導	声優(俳優)として必要な演技力、声・言葉・体のコミュニケーション能力のスキルをあげていく。また、アテレコも実際に行い、アクセント・滑舌・日本語の簡単な構成について学ぶ。	1通2通	240	8			○	○	○	○	○	
○			ダンス	リズム感や身体能力を鍛え、幅広い表現力を養い、作品作りに参加することで向上心を高める。振り付けを中心とした実践的な練習により、舞台表現やオーディション等に対応できる力を身につける。	1通2通	210	7			○	○			○	
○			自己表現技法	演技者として必要な基礎(肉体訓練・発声・集中力・リズム感・想像力と創造力・感情表現など)をテキストを使いながら学習し、それぞれを体感する。	1通2通	240	8			○	○			○	○
○			ヴォーカル実習	ヴォーカル力を身につけるためのレッスンを実践的に行う。	1通2通	210	7			○	○		○	○	
○			朗読実習	朗読を通して言語に親しみ、声を通して表現する技術を身に着ける。	1通2通	120	4			○	○		○		
○			ナレーション実習	テレビ・ラジオのナレーションの技術を身に着ける。録音した自分の声を客観的に聴くことで、本来の自分の声を知り、繰り返し実習をすることで自らの技術を高める	1後2通	60	2			○	○			○	
○			ビジネスマナー	身だしなみ、言葉づかい、あいさつの基本マナーから、ビジネス文書、慶弔・贈答・会食マナーまで理論と実習を通してみにつける。	1通	30	1			○	○		○		
○			パソコン演習	1年次ではワード、エクセルの資格取得をめざす。2年次では動画・音楽編集の技術、ブログ製作のノウハウを学ぶ。	1通2通	90	3		○		○			○	
○			実用英会話	日常英会話、ビジネス英会話はもちろん、洋画の英語のセリフ会話まで学ぶ。	2通	30	1			○	○			○	

○			コミュニケーション	コミュニケーションの基本「話すこと」「聞くこと」を実践的に身につける。話すときの心構え、効果的な話し方、効果的な表現力、聞くことの重要性などを学ぶ。	1通2通	120	4			○	○			○	
○			番組制作	DTMソフト（QUBASE）を使い、録音・編集の技術を取得し、ラジオ番組を制作する。インタビューの仕方、フリートークの会話を番組としての作品作りをめざす。	1通2通	90	3			○	○		○	○	○
○			日本語(国語)	発音・文法・語彙等の体系、言語そのものの特質や読解、作文、話し言葉を学ぶ。言葉の読解力を身に着ける。	1後	30	1			○	○		○		
○			進級・卒業研究	声優俳優業界の基礎知識を学び、オーディションに向けての準備を行う。学んだことの集大成として、オリジナルシナリオによるドラマCD等を作成する。最終学年としての公演に向けての発表を行う。	1通2通	90	3			○	○		○	○	○
合計				15科目	単位時間（　63 単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目成績評価C以上、全科目出席率90%以上、学内公演発表。	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15　週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。